

病気の話題 がんの早期発見



医師 向坂 英樹

今回のテーマは、誰もが心配する「がん(癌)」のお話です。「がん」とは、体にできる「できもの(新腫瘍)」のうち、無秩序に大きくなり(増殖)、周囲を巻き込んだり(浸潤)、血管やリンパ管の流れに乗って体のあちこちに飛び散ったり(転移)して、体を蝕んでいく病気です、手で触ると岩のようにごつごつとしています。風邪や下痢のように栄養と休養で自然に治ることはなく、治療しなければ悪くなり、最後は命を奪ってしまいます。

かつて、戦後しばらくの間、日本人は肺炎や結核などの感染症で亡くなるのが多かったのですが、衛生環境の改善や、抗生物質の発見など医療の進歩により、感染症が治療できるようになり、世界に誇る長寿の国民になりました。そして現在の日本人のおもな死因は「心血管疾患」(主に急性心筋梗塞)、「脳卒中」(脳出血や脳梗塞)と「がん」になりました。そのなかでもっとも多いのが、「がん」です。厚生労働省が発表した平成12年の統計によると、日本人の全死因に占めるがんの割合は男性31%、女性28%でした。ちなみに脳血管疾患は男性14%、女性17%、心疾患は男性14%、女性15%です。

ところで、がんはなぜできるのでしょうか。がんは細胞の中の遺伝子が放射線や紫外線、発癌物質、ウイルスなどにより傷害されることで発生します。放射線は原子力発電所や医療機関のレントゲン検査などで使われていますが厳重に管理されており、普通、被曝はわずかです。紫外線は、お肌に敏感な若い女性は詳しくは詳しく、日光に含まれ、たくさん浴びると皮膚がんをおこします。特に皮膚の色素の少ない白人種は、皮膚がんになりやすいです。長袖や日焼け止めクリームなどで対策しています。一方、発癌物質はわれわれの生活環境にたくさん存在します。たとえばタバコに含まれるコaltarールや、建築に使われるアスベストが有名ではないでしょうか。一部の白血病やリンパ腫、子宮頸がんなどはウイルスによって引き起こされます。

このようにして、われわれの気づかないうちに遺伝子が傷つけられた細胞は、暴走をはじめ、体の中で分裂・増殖を始め、何億個もの細胞の塊になり、文脈に書いたような方法で、体の中に広がっていきます。

最初、がんが小さなあいだは、痛みや出血など、自覚症状はありません。体の表面でもできない限り気が付きません。そして、この時期は、まだ浸潤や転移をしていないことが多いので、治療もやりやすいのです。ですから、この時期に見つけることができれば、治療も効果的で動かしやすいといえます。逆に、体に広がってからは、治療も複雑で長期にわたるので、仕事も休まなければならないし、治療費もかかることになり、肉体的にも精神的にも経済的にも負担が大きくなります。

したがって、がんは早く見つけるに越したことはないのですが、残念ながら早期には症状がないので、だれも病院を訪れてくれません。したがって、あえて、がんができていないか検査する必要があります。この検査は「がん検診」と呼ばれています。ところで、がんは体のあらゆる部分に発生するのですが、特によくできる臓器があります。男性の場合は、肺、胃、大腸(結腸・直腸)、肝臓、すい臓で、がんによる死因の約三分の二に達します。女性では、これらに乳腺と子宮が加わります。

大阪市では、これらのがんのうち、胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がんの検診を医療機関に委託し市民に受診を促しています。検

診ではそれぞれのがんに特徴的な症状がないか問診を行い、身体の診察や検査を行います。検診で行う検査は比較的体への負担が少ないものが多いので、もしそこで異常が見つければ、精密検査を受けることになります。ちなみに、当院では子宮がん以外のがん検診を受けられます。以下に当院で行っている検診とその方法を簡単に説明しておきます。

胃がん検診はバリウムという、検査用の薬を飲んで、撮影台の上でぐるぐる回しながら色々な方向からレントゲン撮影を行い、胃が変形していないか調べます。もし、この検査で異常が見つければ、内視鏡検査(胃カメラ)で観察し、怪しいところは組織をつまんで、顕微鏡検査でがん細胞がないか調べます。

大腸がんは、その表面から少しずつ出血することが多いので、便に含まれるわずかな血液を探します。(これを「便潜血検査」といいます。)便そのものを持って行くのではなく、検査器具で便のサンプルを探ります。もし、陽性であれば注腸検査や、大腸の内視鏡検査で大腸がんからの出血かどうか調べる必要があります。がんが見つかることもあれば、痔が見つかることもあります。

肺がんの検査は、胸部のレントゲンと痰で調べます。痰の検査は朝一番の痰の中に、がん細胞が混じっていないか顕微鏡で調べます。

乳がん検診は、乳房の皮膚の状態とこりがいいか診察し、超音波検査やレントゲン検査を行います。乳房のレントゲン撮影方法は独特で「マンモグラフィ」といいます。乳房を撮影台の上でうすく引き延ばして撮影します。引き伸ばすときに痛みを感じる人もいますので、検診のなかでは、これが一番たいへんかもしれません。ですが、乳がんは早く見つければ、治療成績もよくなるので是非受けてもらいたい検査です。また乳がんは数少ない外から触れることができるがんなので、検診だけではなく、入浴時などに乳房を調べてしこりを探したり、皮膚の変化を見つけたりする「自己検診」もとても役に立ちます。もし、これらの検査で乳がんの可能性があれば、注射器で怪しい部分の細胞を吸い取って、顕微鏡で調べます。

大阪市の検診ではないのですが、肝臓がんは、罹りやすい人たちが重点的に調べます。ウイルス慢性肝炎や肝硬変の患者さんの肝臓にできやすいので、これらの病気を持っている方にはだいたい3ヶ月おきに超音波検査やCT検査をおこないます。また、肝臓がんがでると血液の中にAFPやPIVKA-IIというがんが作るたんぱく質がでてくるので、定期的の上昇していないか調べます。

これらの検査によって早期にがんが見つかり、治療を早く始めたおかげで、がんが治った人はたくさんいますが、残念ながらもとの検査も100%見つかるわけではないことも事実です。がんは小さいと検診でもわかりません。したがって、検診は、一度受けて「異常なし」だったからといって、安心せず、毎年繰り返して受けてください。また、検診で大丈夫だったとしても、おかしい症状が続けば受診することを忘れないようにしてください。

余談になりますが、近頃、「PET検査」という言葉を、新聞などで見かけた方はおられないでしょうか。これは、一度に全身のがんを探す検査です。すい臓や子宮体部など、通常の検診で調べるのができないがんが見つかります。これは、がんが集まりやすい物質を注射したあと、どこにその薬が集まっているか調べます。PET検査では、臓器にもりませんが、およそ1cm以上にがんが育つとわかるといわれています。ただ、この検査装置は高価で大掛かりなため、大阪でも限られた医療機関にしかならず、主に人間ドックではかの検査と一緒にやるなり、すでにがんが診断された方の経過を見たりする目的で用いられています。

新卒スタッフ紹介/今年に卒業したのフレッシュな新人さんです。皆様、よろしくお願いたします。

 理学療法士 名前: 佐藤 淳 (さとう じゅん) 出身校: 兵庫県立 出身校: 大阪府立看護専門学校 趣味: 演歌、民謡	 薬剤師 名前: 吉田 昇平 (よした しょうへい) 出身校: 兵庫薬 出身校: 北陸大学 趣味: 釣り、卓、スノーボード	 看護師 名前: 山下 直子 (やまのた なおこ) 出身校: 長崎県 出身校: 茨城県立看護専門学校 趣味: 読むこと	 看護師 名前: 久保田 絵里花 (くぼた えりか) 出身校: 兵庫県 出身校: 茨城県立看護専門学校 趣味: 食べること
---	---	---	---



FUKUSHIMA INFORMATION 2006 SUMMER

福島インフォメーション



地域に密着した良心的な医療を提供する事を使命としています。

■発行
医療法人永寿会
福島病院
〒985-0012 大崎市東区平野2-4-207
TEL:096-6963-2940(代)
FAX:096-6963-2010
E-mail:info@fukushima-hp.or.jp
http://www.fukushima-hp.or.jp
■発行日/平成18年6月

理念

24時間いつでも誰でも気軽に利用できる、地域に密着したコンビニ型病院(皆様の病院)をめざす。

基本方針

正確な診断に基づいて最適な医療機関での治療をめざす。
幅広い患者のニーズに細かく対応して、患者だけでなく従業員自身も安心して知人や身内を紹介できる病院をめざす。

福島病院患者の権利

●医療を受ける権利●
患者は、いつでも、必要かつ十分な医療サービスを受ける権利があります。また、医療保障の改善を、国や地方自治体に要求する権利を有します。

●知る権利と自己決定権●
患者は、自己に関する病名、症状、検査や治療の方法とその危険性、代替手段、経過や予後の薬の内容や副作用、費用等について十分な情報や説明を受け、理解し自らの意志に基づいて治療方法等に同意、選択、拒否する権利を有する。

●プライバシーを保護される権利●
患者は個人の秘密や医療に関する個人情報保護されるとともに私的なことに干渉されない権利を有します。

●学習する権利●
患者は健康や、病気、医学知識や医学制度、福祉や社会保険制度等について学習する権利を有します。

●医療参加の権利●
患者自身が、医療従事者と共に医療社会発展のため医療に参加する権利を有します。

【広報係より】
いつも当院広報誌のご愛読ありがとうございます。梅雨の季節に入りしたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。平成18年度福島病院は、「皆様の病院(コンビニ病院)」の理念のもとコツコツと頑張ってきたと思っています。今号は内容を増量してご紹介しております。お楽しみ下さい。それでは次号(12月号)に向けて色々情報収集をしておりますので、ご期待下さい。
*当院は患者さんの個人情報保護に全力で取り組んでおります。個人情報の取り扱いについてお気づきの点は窓口までお願いします。

入院患者さんアンケート報告(H17/11月~H18/4月)	新入職員紹介	新入院・救急搬送患者数報告																						
<p>病院についての御意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 病棟フロアーにテレビを置いてほしい。⇒3階4階の訪問室に設置しました。ご満足下さい。 パンが朝食で出る時にコースターを置いてほしい。⇒病棟時、各階に設置しました。 トイレが汚れているときがある。⇒チェック表を作成し、朝(9時ごろ)昼(14時ごろ)に清掃しています。 トイレにウォシュレットをつけてほしい。⇒各階のトイレにつけるよう検討中です。もうしばらくお待ち下さい。 男性トイレにゴミ箱を設置してほしい。⇒早急にご設置していく予定です。 <p>いつも当院さんからいろいろなお意見をいただきありがとうございます。 それら一つ一つを話し合いながら改善に努めていきたいと思っています。</p>	<p>伊藤 弘子 (いとうひろこ) 看護師 H18年10月1日入職 内容 山本 明子 (やまのた なるこ) 薬剤師 H18年3月20日入職 山下 陽子 (やまのた ひろこ) 事務員 H18年4月1日入職 久保田 絵里花 (くぼた えりか) 看護師 H18年4月1日入職 山下 直子 (やまのた なおこ) 看護士 H18年4月1日入職 中田 陽子 (なかのた ようこ) 薬剤師 H18年4月1日入職 菊地 麻衣子 (きくち あさひ) 看護士 H18年4月1日入職 山田 知子 (やまだのちこ) 看護士 H18年4月1日入職 吉田 昇平 (よした しょうへい) 薬剤師 H18年4月1日入職</p>	<table border="1"> <tr> <th>新入院</th> <th>救急搬送</th> </tr> <tr> <td>(017.11月~018.04)</td> <td>(017.11月~018.04)</td> </tr> <tr> <td>平成17年</td> <td>平成17年</td> </tr> <tr> <td>11月 125名</td> <td>11月 48名</td> </tr> <tr> <td>12月 156名</td> <td>12月 78名</td> </tr> <tr> <td>平成18年</td> <td>平成18年</td> </tr> <tr> <td>01月 127名</td> <td>01月 59名</td> </tr> <tr> <td>02月 113名</td> <td>02月 47名</td> </tr> <tr> <td>03月 138名</td> <td>03月 47名</td> </tr> <tr> <td>04月 126名</td> <td>04月 56名</td> </tr> <tr> <td>合計 785名</td> <td>合計 335名</td> </tr> </table>	新入院	救急搬送	(017.11月~018.04)	(017.11月~018.04)	平成17年	平成17年	11月 125名	11月 48名	12月 156名	12月 78名	平成18年	平成18年	01月 127名	01月 59名	02月 113名	02月 47名	03月 138名	03月 47名	04月 126名	04月 56名	合計 785名	合計 335名
新入院	救急搬送																							
(017.11月~018.04)	(017.11月~018.04)																							
平成17年	平成17年																							
11月 125名	11月 48名																							
12月 156名	12月 78名																							
平成18年	平成18年																							
01月 127名	01月 59名																							
02月 113名	02月 47名																							
03月 138名	03月 47名																							
04月 126名	04月 56名																							
合計 785名	合計 335名																							

診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	内科診B 1 診 小林 2 診 辰巳 3 診 福島	池 潤 南 向坂	川 畑(糖尿) 池 潤 高橋	小 林 池 潤 高橋	辰 巳 榮 福島	廣 峰(糖尿) 榮 高橋
午後	内科診B 1 診 2 診 3 診		川 畑(糖尿) 唐 児(糖尿) 向坂 森 高橋(糖尿) 各医師	向坂 高橋(糖尿) 各医師	藤 岡 各医師	
夜	1 診 高橋 2 診 3 診	辰 巳 南 福島	西本(整形)	小 林 池 潤 各医師	榮 藤 岡 各医師	

お知らせ 平成18年5月10日より川畑医師の診療時間が火曜日から水曜日に変更になっております。また、内科診療室Bができました。(従来の内科診療室は内科診療室Aに名称変更) 平成18年6月現在

